意外に知らない!?

県立図書館のお仕事紹介

地域・行政資料担当編

皆さん、県立図書館がどこにあるかご存知ですか。熊谷市と久喜市にあります。2つの館で合計17の担当があり、様々な業務を行っています。今回は、県立熊谷図書館の「地域・行政資料担当」のお仕事を紹介します。

埼玉の資料はおまかせ！

地域・行政資料担当は、埼玉に関わる資料（「埼玉資料」と呼んでいます）の提供を主な業務としており、県立熊谷図書館の「埼玉資料室」にて、様々な問い合わせに応じています。

埼玉資料室では、住宅地図やブルーマップ、地形図といった地図類、市町村史や地名事典などの地誌類がよく利用されています。この他にもユニークな資料を所蔵しており、全国で一番、埼玉について知ることができる場所となっています。

埼玉の○○を調べたい

埼玉資料室では、埼玉に関する調べ物のお手伝い（レファレンスサービス）をしています。長年に渡り収集・保存してきた資料が基盤となってサービスは成り立っています。インターネット全盛の時代にあっても図書館資料でしか調べられない事柄は多く、県内外の方から問い合わせがあります。左にお問合わせの一例をご紹介します。

『昔の勤務先を調べたい』

数十年前のあいまいな情報を手掛かりに、古い電話帳や名鑑類等で可能な限り調査します。年金支払記録提出のために、正確な会社名や所在地等を調べる方がいらっしゃるようです。

とっても便利!! 埼玉関係データベース

「埼玉新聞」の記事見出し、埼玉に関する雑誌の記事見出し、人物が掲載されている文献名を検索できるデータベースを公開しています（詳細は下欄参照）。調べ物の足掛かりに有効なデータベースです。例えば、昔こんな出来事が埼玉で話題になった気がする…といったあいまいな記憶でも新聞記事を探せるかもしれません。また、ある人物を調べたいというとき、情報が掲載されている資料がヒットするかもしれません。図書館で当該資料の内容を確認して更に次の情報を入手…といった具合に使えます。

デジタルライブラリーを使いやすく

デジタルライブラリーとは、埼玉資料（令和元年8月末日現在227点）の画像をどなたでも、インターネットで見ることができる機能です。昨年、キーワードで資料を検索できるようシステムを更新しました。さらに、少しでも多くの方に興味をもってのぞいていただけるよう、ギャラリー感覚で見られる機能を作成中です（今年秋公開予定）。

図書館資料のデジタル化は、まだまだ始まったばかり。タイトル数は多いとは言えませんが、これからも継続的に作成していきますので、ご期待ください。

探しているみつからない資料は職員へ

「探している資料がみつからない…」という時は職員にお声がけください。図書館には、閲覧室の書架の本の他に、書庫にもたくさんの資料があります（書庫の資料は職員がお持ちします）。また、埼玉資料室の資料は保存の観点から貸出不可ですが、県立久喜図書館や外部書庫の資料は、取り寄せの上、貸出可能です。お気軽にお声がけください。

←埼玉資料室の写真です。公開書架には約 13,000 点の図書資料が配架されています。埼玉関係データベースやデジタル画像検索が使える端末もご用意しています。

平成 31年 3月公開！　埼玉関係データベース

「新聞記事見出し索引（採録期間：一九四三年4月～二〇〇九年12月）」、「雑誌記事見出し索引」、「人物文献索引」の3つのデータベースを統合したものです。

こんなときに便利！

「一九四七年に埼玉県に上陸した大型台風について、当時の新聞記事を調べたい」

「雑誌『埼玉史談』に掲載されている絵馬に関する記事を読みたい」

「荻野吟子に関する図書資料は、どんなものがあるのか知りたい」などを調べることができます。

使い方は簡単！

インターネット環境さえあれば、いつでもどこでも利用できます。パソコンやスマートフォンで埼玉県立図書館ウェブサイトを開き、トップページ右側の「埼玉関係データベース」のボタンを押してください。検索画面が表示されますので、キーワード等を入力して検索してください。

スマホや携帯から、左のQRコードを読み込み簡単に利用できます。

※このデータベースは、記事を探すためのツールです。記事本文は表示されません。本文をご覧になりたい方は、ご来館の上ご利用ください。

↑埼玉関係データベースの検索画面です。入力欄に文字を入力し検索します。検索の際、右上「結果の表示方法」でデータベースの種類を絞れます。新聞記事だけ調べたいときなどに、チェックを入れて検索してください。

例えば…こんなお仕事

カウンター

埼玉資料室の主な業務は、レファレンスと雑誌・新聞の受入です。

レファレンス

レファレンスは、カウンターに入る職員が引き継ぎながら調査を進め原則１週間で回答します。関連する記述のあった資料名・ページ等を文書にまとめ、メールや FAX 等で連絡します。多いときは、5、6件の調査を同時進行しています。来館できない方に複写物を郵送で提供するサービスも行っています。

雑誌・新聞

埼玉資料の雑誌・新聞はほとんどが寄贈されたものです（市町村広報誌等）。各所に送付をお願いして継続的に収集・保存することで、「後世に役立つ資料群になる」と地道な受入作業を日々行っています。

資料展示

埼玉資料室入口の展示棚でミニ展示を実施（数週間に一度の入れ替え）。日頃触れることの少ない埼玉資料に光を当てるべく様々なテーマを設定しています。また、年に1回、２階ロビーでの資料展を企画。近年は「図書館資料で巡る熊谷宿」「埼玉の職人」「アニメの聖地・埼玉」といったテーマで実施しました。

「アニメの聖地・埼玉」

「埼玉の無形文化遺産」

浦和分室の運営

地域・行政資料担当の職員は５名おり、熊谷図書館「埼玉資料室」の他「浦和分室」も担当しています。
浦和分室は、県庁最寄りの図書館施設として、県庁職員の調べ物を受け付けることが多く、分室を介して、政策立案に必要な資料を提供しています。

浦和分室は、資料は所蔵していません。県立図書館の資料を取り寄せて、受け取ることができます（一部利用できない資料もあります）。

市町村図書館の方への研修

県立図書館は市町村の図書館を後方支援する役割を担っています。埼玉県図書館協会地域資料専門委員会の事務局を担当し、専門委員とともに地域資料に携わる職員のスキルアップ等を目的とした研修を実施しています。